

I 問題行動の分析・対応

1. 対象生徒氏名 *年 *組 ****		
2. 問題行動の分析		
主たる問題行動：授業中の私語が多すぎる		
問題行動が起こる条件 (教科、状況、指示など)	問題行動と機能 (問題行動の内容と意味)	今までの対応 (問題行動への対応と成果)
①数学の時間が多い 教師が説明を続けているとき 数学が苦手で、成績はよくない	②授業に関係ないことを話す	③注意するが、「わかった」と言ってもすぐに話し始める
問題行動が起きない工夫 (上記の条件への対応)	問題行動にかわる別の行動 (社会的に適切な行動)	適切な行動への対応 (ほめる、認める方法)
④わからないときには挙手することを事前に告げる 補助プリントを使って説明する	⑤手をあげて発言する 発言しないが私語もない	⑥ ほめて優しく教える 何がわからないか優しく聞き、私語がないことはほめる
3. 授業の様子・学級の雰囲気		
全体的に数学が苦手な生徒が目立つ		
改善のための対応		
授業内容をより理解できるよう補助プリントを準備する		
4. 障害特性への配慮		
説明をなるべく短くする		